

平成 29 年度 京都大学大学院農学研究科修士課程学生募集要項

本研究科の修士課程は大学院設置基準にいう博士課程前期 2 年の課程です。

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者、あるいは平成 29 年 3 月末までに該当する見込みの者

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 文部科学大臣が指定する専修学校の専門課程を文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (7) 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者
- (8) 大学に 3 年以上在学し、又は外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22 歳に達したもの

注 1. 受験希望者は、事前に必ず志望する募集専門種目の教員と連絡を取ってください。

注 2. 上記(8)、(9)により出願する者は、事前に出願資格の審査を受けなければなりません。この資格で本年度出願する者は、**農学研究科大学院教務掛（以下、大学院教務掛）**の窓口へ申し出てください。

2. 募集人員及び入学者選抜方法等

(1) 募集人員（入学定員）

専攻	募集人員	専攻	募集人員
農学	33	地域環境科学	50
森林科学	48	生物資源経済学	24
応用生命科学	63	食品生物科学	33
応用生物科学	52	計	303

ただし、試験の結果によっては、第二次学生募集を行う場合があります。
なお、専攻の概要については、別添「**農学研究科概要**」を参照してください。

(2) 専門種目の志望

志望専門種目は同じ専攻内に限ります。

専攻	志望する専門種目
農学／森林科学／応用生物科学／生物資源経済学	第 3 志望まで可能
応用生命科学／食品生物科学	第 3 志望まで記入すること（ただし、志望した専門種目の志願者が多い場合は、志望以外の専門種目で合格とすることもあります）
地域環境科学	第 2 志望まで可能

(3) 学力試験科目

(イ) 専門科目(1)・(2)	専門科目の受験にあたっては別添「 専門科目出題説明 」を参照してください。
(ロ) 英語	辞書は使用できません。
(ハ) 面接	志望する専攻ごとに面接を課します。

(4) 入学者選抜方法

- ① 入学者選抜は、出願書類の内容及び学力試験の成績により行います。
- ② 学力試験の各科目については、それぞれに合格基準を設けており、合格するためには全科目においてその基準を満たす必要があります。
- ③ 志望する専門種目の志願者が多い場合は、当該専攻の合格最低点を上回る得点であっても、不合格となる場合があります。

3. 出願書類

(1) 入 学 願 書	所定の用紙に、必要事項を本人が明記してください。 半身正面向きで出願前3カ月以内に単身撮影した同一の写真（無背景）を、「写真票」及び「受験票」の所定欄に貼ってください。
(2) 入学検定料振込金 受 付 証 明 書	事前に別紙「 入学検定料振込上の注意 」を参照のうえ、所定の「入学検定料振込依頼書」を金融機関に持参し、入学検定料（30,000円）の振込手続きを行ってください。振込手続き終了後は「入学検定料振込金受付証明書」を出願書類に同封してください。
(3) 成績証明書および 卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none">・ 出身大学所定のもの （本学農学部在学中の者及び卒業した者は「学業成績及び卒業（見込）証明書」を提出のこと）・ 出身大学以外の大学で取得した単位が認定されている場合には、単位を取得した大学の成績証明書も提出すること。・ 出願資格（8）で出願するものは卒業（見込）証明書に代えて、在学証明書を提出すること。
(4) 卒業論文概要書又は実 験、実習、演習概要書	A4横書き1,000字以内で作成し、志望専攻・専門種目・氏名を付記してください。（様式自由）
(5) あ て 名 票	所定の用紙を使用してください。
(6) 受験票送付用封筒	所定の封筒（速達）に住所・氏名・郵便番号をそれぞれ明記し、362円分の切手を貼ってください。

注1. 出願資格(2)による学士の学位を授与された者は、学位記の写し又は学位授与証明書を提出してください。

また、短期大学あるいは高等専門学校に置かれた専攻科に在籍する者で、出願資格(2)に該当する見込みの者は、上記書類のほか、当該専攻科の「修了見込証明書」及び「学士の学位授与申請予定である旨の証明書」（様式随意：学位が得られないこととなった場合は、速やかに通知する旨の記載があるもの）を提出してください。

注2. 外国人留学生は、上記に加えて、提出に必要な書類があります。募集要項に添付された別紙をご覧ください。

4. 出願手続

- (1) 出願者は、前記の出願書類を、出願期間中に提出してください。
なお、郵送の場合は、封筒の表に「**修士課程入学願書**」と朱書し、必ず「**書留**」にしてください。

提出先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛

- (2) 出願資格(8)、(9)により出願する者は、次の書類を平成28年6月29日（水）までに大学院教務掛に提出し、指示に従ってください。

[出願資格(8)による者]

- ① 出願資格審査申請書(所定用紙)
- ② 成績証明書(所定用紙)
- ③ 3年次における修得見込科目・単位数(所定用紙により本人の申告)

なお、この出願資格による入学試験合格者は仮合格者であり、3月末に3年次の取得単位成績を確認後正式に合格者とします。したがって、平成29年3月10日(金)までに成績証明書を提出してください。また、仮合格者は、学力試験の成績が特に優秀であった者から選抜されます。

[出願資格(9)による者]

- ① 出願資格審査申請書(所定用紙)
- ② 最終出身学校の卒業証明書及び成績証明書
- ③ 業績調書(所定用紙)

なお、口頭試問により出願資格審査を行いますが、日時についてはおって連絡します。

- (3) 障害等のある者で、受験上若しくは修学にあたっての配慮を希望する場合は、事前に大学院教務掛に申し出てください。

5. 願書受理期間

平成28年7月12日(火)から7月15日(金) 午後5時まで(必着)。

郵送の場合も含め、一切の理由を問わず、期限後の出願は受理しません。

ただし、平成28年7月13日(水)以前の発信局消印のある書留速達便に限り、期限後に到着した場合でも受理します。

6. 試験日程及び場所

月 日	時 間	試 験 科 目	場 所
8月23日 (火)	10:00~12:00	英語	京都大学農学研究科 京都市左京区 北白川追分町 (市バス「京大農学部前」下車)
	13:30~15:30	専門科目(1) 農学、森林科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学専攻志望者 ・・・(13:30~15:00) 応用生命科学、食品生物科学専攻志望者 ・・・(13:30~15:30)	
8月24日 (水)	10:00~12:00	専門科目(2) 農学、森林科学、応用生物科学、地域環境科学、生物資源経済学、食品生物科学専攻志望者 ・・・(10:00~11:30) 応用生命科学専攻志望者 ・・・(10:00~12:00)	
		面接	
8月25日 (木)	10:00~17:00	面接	

(注) 面接時間・場所等の詳細については、8月22日(月)午前9時に農学部総合館教務関係事務室前に掲示してお知らせします。

7. 合格者発表

平成28年9月1日(木)午後5時頃、農学部総合館教務関係事務室前掲示板に発表し、同時に合格者へ合格通知書を発送します。電話による照会には一切応じられません。

また、翌日、本研究科ホームページにも掲載します。

「http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/admission/div_adm_info」

8. 入学検定料

入学検定料 30,000円

振込期間 平成28年6月29日(水)~7月15日(金)

(期間当日の収納印有効・期間外取扱不可)

※ 振込方法については、別紙「入学検定料振込上の注意」を参照してください。

※ 平成23年3月に発生した東日本大震災による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災された方で、罹災証明書等を得ることができる場合は入学検定料を免除することがあります。

詳しくは、7月1日(金)までに、大学院教務掛まで問い合わせてください。

9. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 前期分 267,900円 (年額535,800円)

※ 入学料及び授業料は予定額ですので、改定されることがあります。

※ 入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から改定された新入学料及び新授業料が適用されます。

10. 注意事項

- (1) 願書等の訂正は、該当部分を＝線で抹消し、その上部に記入してください。
 - (2) 試験室や試験に関する指示は、8月22日(月)午前9時に**農学部総合館教務関係事務室前掲示板**に掲示するので、必ず見ておいてください。
 - (3) 専門種目の選定にあたっては、研究科概要を参照してください。
なお、専門種目の選定にあたって不明な点があれば、**大学院教務掛**にお問い合わせください。(Tel. 075-753-6014)
 - (4) 企業・官公庁・研究機関等に在職の者は、入学試験に合格しても、退職又は休職しなければ入学できません。
 - (5) **私費外国人留学生特別選抜は、平成29年1月下旬実施予定です。**
今回の募集に際して、私費外国人留学生は出願可能ですが、辞書の持ち込み等、受験に関する特別な配慮は一切行いませんので、ご注意ください。
 - (6) 冬期実施の入学者選抜試験にかかる「英語」科目の変更について
既にHPに掲載していますとおり、2017年1月実施予定の平成29年度大学院入学試験より、「英語」科目を変更します。修士課程一般選抜(二次募集)／修士課程私費外国人留学生特別選抜の出願者は、出願開始日から2年前(2017年1月実施の入試の場合は、2014年11月30日)以降に受験したTOEFL-iBTまたはIELTSのスコアシート(本紙)を出願時に提出してください。
なお、夏期実施の入学者選抜試験における「英語」科目は従来と変更ありません。
 - (7) その他
 - (イ) 本研究科修士課程では、(1)フルタイムの有職者、(2)育児又は親族の介護を行う必要がある者、(3)身体等に障害を有する者を対象に、標準修業年限(修士課程2年)を超えて一定の期間(上限4年間)にわたり、計画的に教育課程を履修し修了することを認める長期履修制度を導入しています。希望者は、詳細について大学院教務掛にお問い合わせください。(Tel. 075-753-6014)
 - (ロ) 募集要項を郵便で請求する場合は、住所・氏名・郵便番号を明記し250円切手を貼った角型2号封筒(330mm×240mm)を同封して、次のあて先に申し込んでください。
その際、必ず封筒の表に「**修士課程学生募集要項請求**」と朱書してください。
- 申込先：〒606-8502 京都市左京区北白川追分町
京都大学農学研究科大学院教務掛
- (ハ) 出願手続後は、いかなる事情があっても出願書類記載事項の書き換えはできません。
また、入学検定料の払い戻しはできません。
 - (ニ) 8月4日(木)までに受験票が届かない場合は、**大学院教務掛**にお問い合わせください。(Tel. 075-753-6014)
 - (ホ) 出願者に対する宿泊施設などの紹介・斡旋等はありません。
- (8) 個人情報の取扱いについて
出願書類等に記載されている、氏名、性別、生年月日、住所、その他の個人情報は、①入学試験の実施、②入学手続き、奨学金制度等、③入学者の受入準備等の目的において利用します。

平成28年6月

京都大学大学院農学研究科

平成29年度京都大学大学院農学研究科修士課程入学試験
専 門 科 目 出 題 説 明

専攻	出 題 説 明										
農 学	<p>専門科目(1)は、作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、植物生産管理学、品質設計開発学、品質評価学、分子生物化学から各1問、基礎的な内容を出題する。そのうち4問を選択し、解答する。</p> <p>専門科目(2)は、各専門種目（作物学、育種学、蔬菜花卉園芸学、果樹園芸学、雑草学、栽培システム学、植物生産管理学、品質設計開発学、品質評価学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。</p>										
森 林 科 学	<p>専門科目(1)は、森林科学一般から出題する。 ※森林科学一般の問題は、森林科学に関わる小論文形式の共通問題である。</p> <p>専門科目(2)は、各専門種目（森林・人間関係学、熱帯林環境学、森林利用学、森林生物学、環境デザイン学、山地保全学、生物材料設計学、林産加工学、生物繊維学、樹木細胞学、複合材料化学、生物材料化学、森林情報学、森林育成学、バイオマス形態情報学、生物機能材料学、循環材料創成学、居住圏環境共生学、木質構造機能学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。</p>										
応 用 生 命 科 学	<p>専門科目(1)は、「農芸化学」分野の学習・研究を行うに当たり必要となる知識について、下記の5領域に関連する基礎的問題を出題する（全問解答のこと）。 “基礎的問題”とは、『ヴォート基礎生化学』や『ボルハルト・ショアー現代有機化学』に準ずるような、全国的に広く使用されている教科書の中で扱われている<u>事項全般</u>に関する基礎的学力を問うものです。</p> <p>専門科目(2)は、「物理化学」、「有機化学」、「生化学」、「応用微生物学」、「植物科学」の5領域から出題する（2領域を選択し解答する）。 各領域の出題範囲は次表の通りです。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">物 理 化 学 領 域</td> <td>①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む） ⑤タンパク質の立体構造</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">有 機 化 学 領 域</td> <td>①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">生 化 学 領 域</td> <td>① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化的リン酸化、脂質） ⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">応 用 微 生 物 学 領 域</td> <td>①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">植 物 科 学 領 域</td> <td>①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成</td> </tr> </tbody> </table>	物 理 化 学 領 域	①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む） ⑤タンパク質の立体構造	有 機 化 学 領 域	①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用	生 化 学 領 域	① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化的リン酸化、脂質） ⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達	応 用 微 生 物 学 領 域	①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン	植 物 科 学 領 域	①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成
物 理 化 学 領 域	①酸塩基反応 ②酸化還元反応 ③基礎化学熱力学 ④反応速度（酵素反応を含む） ⑤タンパク質の立体構造										
有 機 化 学 領 域	①反応機構 ②有機合成 ③有機化合物の構造解析 ④生理活性物質の化学と作用										
生 化 学 領 域	① 生体分子（核酸、アミノ酸、糖、脂質） ②タンパク質の構造と機能 ③酵素反応 ④代謝（グルコース、グリコーゲン、クエン酸サイクル、電子伝達と酸化的リン酸化、脂質） ⑤生体膜と膜輸送 ⑥DNAの複製、転写と翻訳 ⑦細胞の情報伝達										
応 用 微 生 物 学 領 域	①分類・細胞構造 ②生理・生態 ③代謝・酵素 ④遺伝・ゲノム情報発現 ⑤発酵生産・バイオコンバージョン										
植 物 科 学 領 域	①植物細胞の構造 ②植物の無機栄養元素 ③光合成										

専攻	出 題 説 明
応用生物学	<p>専門科目(1)は、応用生物科学一般から出題する。 ※応用生物科学一般の問題は、応用生物科学に関わる小論文形式の共通問題である。</p> <p>専門科目(2)は、各専門種目（植物遺伝学、栽培植物起原学、植物病理学、昆虫生態学、昆虫生理学、動物遺伝育種学、生殖生物学、動物栄養科学、生体機構学、畜産資源学、海洋生物環境学、海洋生物増殖学、海洋分子微生物学、海洋環境微生物学、海洋生物生産利用学、海洋生物機能学、里海生態保全学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。</p>
地域環境科学	<p>専門科目(1)は、地域環境科学一般から出題する。</p> <p>専門科目(2)は、各専門種目（比較農業論、森林生態学、森林水文学、森林生化学、熱帯農業生態学、土壌学、微生物環境制御学、生態情報開発学、施設機能工学、水資源利用工学、水環境工学、農村計画学、放射線管理学、農業システム工学、フィールドロボティクス、生物センシング工学）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。</p>
生物資源経済学	<p>専門科目(1)は、生物資源経済学一般から出題する。 ※生物資源経済学一般の問題は、生物資源経済学に関わる小論文形式および基礎概念に関する共通問題である。</p> <p>専門科目(2)は、各専門種目（農業食料組織経営学、経営情報会計学、地域環境経済学、食料・環境政策学、森林経済政策学、国際農村発展論、比較農史学、農学原論）から出題する。 ※専門科目(2)は第1志望の専門種目についてのみ解答すること。</p>

専攻	出題説明		
食 品 生 物 科 学	<p>専門科目(1)は、「生化学」、「有機化学」、「物理化学」の3領域に関連する基礎的な問題を出題する。各領域から2問題の計6問題のすべてを解答すること（100点満点）。</p> <p>専門科目(2)は、「生物有機化学」、「食品生物工学」、「生化学・酵素科学」、「応用微生物学」、「栄養科学」、「食品科学」の6領域から出題する。各領域から2問題の計12問題の中から4問題を選択して解答すること（100点満点）。</p> <p>各領域の出題範囲は次表のとおりである。</p>		
	専門科目(1)	生化学	タンパク質、糖質、脂質の構造 解糖系・クエン酸回路・電子伝達系 遺伝子とタンパク質の生合成
		有機化学	有機化合物の構造と化学結合、立体化学 酸・塩基反応と解離定数、酸化と還元 基本的な有機化学反応（付加、脱離、置換）
		物理化学	気体と溶液の性質、熱力学 化学およびイオン平衡、速度論
	専門科目(2)	生物有機化学	有機化学反応全般ならびに反応機構 機器分析による構造決定
		食品生物工学	食品生物工学全般
		生化学・酵素科学	生体分子の構造と機能 代謝と生体エネルギー論
		応用微生物学	微生物の分類・形態・増殖 代謝と発酵、遺伝子と情報伝達
		栄養科学	栄養素の消化・吸収、エネルギー代謝 栄養素の代謝
		食品科学	食品成分の化学と機能 食品の成分変化と品質
<p>専門科目(1)は基本的な内容のみに絞っています。</p> <p>出題等の詳細については、食品生物科学専攻 HP (http://www.food.kais.kyoto-u.ac.jp/) の大学院入試情報をご覧ください。</p>			

平成28年度京都大学大学院農学研究科
修士課程入学試験結果の概要

専攻	募集区分	入学定員	出願者数	受験者数	合格者数	入学辞退者数	入学数
農学	第一次	33	29	28	23	2	26
	社会人		実施せず				
	第二次		5	5	4		
	留学生	若干名	1	1	1		
森林科学	第一次	48	57	56	49	2	54
	社会人		0	0	0		
	第二次		6	6	5		
	留学生	若干名	2	2	2		
応用生命科学	第一次	63	74	73	63	2	63
	社会人		実施せず				
	第二次		実施せず				
	留学生	若干名	2	2	2		
応用生物科学	第一次	52	75	72	57	8	49
	社会人		実施せず				
	第二次		1	1	0		
	留学生	若干名	0	0	0		
地域環境科学	第一次	50	57	54	49	3	52
	社会人		0	0	0		
	第二次		4	4	3		
	留学生	若干名	3	3	3		
生物資源経済学	第一次	24	21	20	16	0	28
	社会人		3	3	2		
	第二次		3	3	3		
	留学生	若干名	8	8	7		
食品生物科学	第一次	33	41	40	28	1	32
	社会人		実施せず				
	第二次		5	5	3		
	留学生	若干名	2	2	2		
合 計	第一次	303	354	343	285	18	304
	社会人		3	3	2		
	第二次		24	24	18		
	留学生		若干名	18	18		

(注) 募集区分欄の「第一次」は第一次学生募集に係る入学試験(平成27年8月に実施)
「第二次」は第二次学生募集に係る入学試験(平成28年1月に実施)
「留学生」は私費外国人留学生特別選抜入学試験(平成28年1月に実施)
とをそれぞれ示す。